



ティー・ブレイク

NO.69

電気街散策

週末特に用事がないときは、大阪日本橋の電気街（東京で言えば秋葉原に相当）を散策することにしている。事務所から近いこともあり、週末に出勤したときは、時々事務所を抜け出して、「でんでんタウン」と名付けられたちょっとディープなこの界隈で、新製品を物色している。目当ては、パソコン、ソフト、オーディオ、カメラ、携帯電話...これが非常に楽しい。

先日は、オーディオ専門店でホームシアターの特設コーナーがあったので、店員に誘われるまま椅子に座って、5.1ch サウンドより再生されるDVDを楽しんだ。AVアンプ、ウーファーを含む6つの小型スピーカ、及びDVDによって、まるで映画館にいるような臨場感が味わえた。再生している映画が派手なアクション映画。店員さんから「いいでしょー」と声をかけられ商談開始。気づいたときには、財布からカードが取り出されていた。

こういうときは決まって、自分にこう言い訳している。「仕事上、常に最新の技術にはふれておかねばならんのだ」。実際、打ち合わせでも「これこれの製品が先日発売されまして...」となることが多く、そのとき実際に使っていればすぐに技術を理解できる。こうなればほとんど病気で、携帯電話は常に最新機種、PCも最新機種、PCと同期するPDAも最新機種。ソフトも同じで、インターネットからダウンロードできるものばかりであればよいが、特にワープロソフト、OSはバージョンアップの連続で大変である。

もうおわかりと思うが、当然に古い機種が家に続々と溜まることになる。部屋のオーディオセットの裏を覗くと、まさにコードジャングル。特にホームシアターを導入したから、昔のスピーカを含めて部屋には計8個のスピーカがある。配線はすさまじい。子供のおもちゃ箱と同じく、愛着があって捨てられない電気製品が入った古電気箱がある。ここには画素数の低いデジカメ（当時は100万画素で自慢できた）、低容量メモリ、低容量HD、一世代前のゲーム機等が所狭しと入っている。この症状は代々遺伝するようで、我が家にはこの他面白い製品がたくさんある。ロボット犬の他、自家発電用の太陽電池も屋上に載置されている。ちなみに、この太陽電池で発電した電気を電力会社へ販売することにより、利益を得ることができる。太陽電池購入費を回収するには約20年かかるが、耐久年数は約15年という落ちまでである。

次なる狙いは、価格の下がってきたプラズマディスプレイ。

(HK)